

eco なび



足立区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

1

足立区環境情報プラザ

No.10 | 2025

苔玉づくり

KOKEDAMA



丸いフォルムに
癒されます♡

2.11 (火・祝)

① 10:00-12:00

② 14:00-16:00

会場：生涯学習センター

講座の詳しい内容は3面をご覧ください

学びピアの縁側

川べりレジンキーホルダー を作ろう

当日
受付

1/18 土 13:30 ~ 15:00



「学びピアの縁側」は「学びピア21」の各施設がプログラムを持ち
よって開催するイベントです。今回は荒川河川敷で採取できるプ
ラスチックごみや植物の押花など、荒川の今を閉じ込めたUVレジン※
キーホルダーを作ります。 ※紫外線を当てることで固まる樹脂。

対象 小学生とその保護者 定員 8組 参加費 100円

持ち物 筆記用具 講師 環境情報プラザ職員

会場 生涯学習センター 講堂

自然とふれあう

川あるきの日

当日
受付

2/8 土 10:00 ~ 11:30



※小雨決行、荒天中止



荒川河川敷をのんびり歩きながら自然観察をします。

対象 どなたでも 定員 20名 参加費 無料

持ち物 動きやすい服装（長袖長ズボン着用。サンダル不可）、
飲み物、帽子、タオル、雨具（雨天時）

講師 環境情報プラザ職員 会場 荒川河川敷〜わんど広場

参加方法 当日、集合場所（足立区環境情報プラザ）で参加証配布



環境・これも考えよう！



身近な生きものがいなくなってしまうかも？

メダカ、ニホンザリガニ、タガメ、ゲンゴロウ。これらの種は少し前まで身近な生きもの
として知られていましたが、現在では日本の絶滅危惧種とされています。また、環境省と
日本自然保護協会の調査では、スズメなどの野鳥やチョウの個体数が大幅に減少してい
ることがわかっています。絶滅危惧種と聞くと、希少な生物を思い浮かべ、どこか遠い話
のように感じる方も多いと思いますが、身近な生物で絶滅の危機に瀕するほど減少して
しまった種も少なくありません。

地球温暖化や森林伐採などによる生息環境の変化、外来種の侵略による生態系バランス
の崩れなど、それぞれの個体数が減少してしまった理由は様々ですが、過去100年で地球上
の種の絶滅速度は1000倍にもなり、現在も増え続けています。今は身近に感じている生物
も、十数年後には絶滅してしまうかもしれません。

それを防ぐためにも、未来に向けて多様な生物が存続できる環境を守っていくことが
大切です。身近な自然や生物の変化を意識して、今の自然環境をなるべく変えてしまわ
ないように、1人1人が環境に配慮した行動を心がけましょう。



オオムラサキ

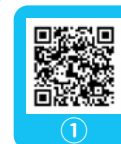


スズメ

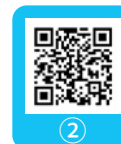
出典：① 環境省 レッドリスト・レッドデータブック

② 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000
第4期とりまとめ報告書概要版

③ 環境省 まもろう日本の生きものたち 私たちにできること



①



②



③

環境講座プログラム

申込開始日
1/11 土



しんちゅう

真鍮で作る オリジナルキーリング

2/2(日) 14:00~15:30

真鍮に好きな文字や記号を刻印して、キーリング(キーホルダーの一種)を作ります。また、金属リサイクルの宝庫である「都市鉱山」についても学びます。



苔玉づくり

2/11(火・祝) ①10:00~12:00
②14:00~16:00

ハイゴケ(這苔)を丸め、植物の苗を植えこんで苔玉を作ります。植物と地球温暖化の関係についても学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 10名 **参加費** 500円

持ち物 筆記用具、汚れてもよい服装

講師 みんなの工房 五十嵐秀子

会場 梅田地域学習センター 工作室
(足立区梅田7-33-1 L.ソフィア内)

アクセス 東武スカイツリーライン「梅島駅」より徒歩3分
都バス「エル・ソフィア前」下車2分
コミュニティバスはるかぜ「梅島駅入口」下車8分

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 各5名 **参加費** 1,000円

持ち物 筆記用具、苔玉を乗せる皿(直径15cm程度)、
汚れてもよい服装もしくはエプロン

講師 芸術学士 狐塚仁宏

会場 生涯学習センター 研修室5
(足立区千住5-13-5 「学びピア21」内)

アクセス 常磐線・東武線・つくばエクスプレス線・東京メトロ
「北千住駅」より徒歩15分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車5分
コミュニティバスはるかぜ「学びピア前」下車1分



古布で作る 手乗りペアうさぎ

2/15(土) 14:00~16:00

古布で小さな2匹のうさぎの飾りを作ります。裁縫が得意な方もそうでない方も楽しく作れます。また、古布のリユースやアップサイクルについても学びます。

対象 区内在住・在勤・在学の方 **定員** 10名 **参加費** 800円

持ち物 筆記用具、裁縫道具(縫い針は四ノニ推奨)

講師 環境情報プラザ協力員 臼倉正代

会場 花畑地域学習センター 第1学習室
(足立区花畑4-16-8)

アクセス 東武スカイツリーライン「竹ノ塚駅」から、
東武バス「団地入口」下車5分
東武バス「花畑区民事務所入口」下車5分
JR常磐線・東京メトロ「綾瀬駅」から、
東武バス「花畑三丁目」下車7分

アップサイクルってなあに?

アップサイクルとは、本来は捨てられるはずだった製品を、新たな価値あるものと生まれ変わらせることをいいます。原材料にまで戻すリサイクルとは異なり、デザインやアイデアによって元の素材がそのまま活かされているものとなります。



講座のお申し込み方法

申込先 足立区環境情報プラザ 〒120-0034 足立区千住5-13-5(「学びピア21」4階)
[TEL] 03-5284-7358 [FAX] 03-5284-7359

申込方法 窓口・電話・ファックス(重複無効) **必要事項** 住所・氏名・電話番号・希望講座名

申込開始 令和7年1月11日(土) 9:00~ 定員に達した場合は、キャンセル待ちとなります。

※講座の詳細は、足立区環境情報プラザまでお問い合わせください。



環境図書コーナー

だれも教えてくれなかった エネルギー問題と気候変動の本当の話 (河出書房新社)

著 ジャン＝マルク・ジャンコヴィシ、クリストフ・ブラン

監訳 古舘恒介 訳 芹澤恵、高里ひろ



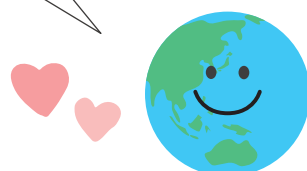
フランスの漫画家とエネルギーと気候変動の専門家が、フランスと欧州にスポットを当てた地球温暖化とエネルギー消費問題の解説本です。人の欲望がエネルギー消費を増大させることを抑えるため、具体的な数字とユーモアを交えながらエネルギーとCO₂削減の方法を模索します。

経済社会の発展とエネルギー消費の歴史を学び、これからの生活を考える1冊です。

メタンハイドレート開発中!

メタンハイドレートは、メタンと水とが結晶化したもので「燃える氷」とも呼ばれているよ。水深500メートルを超える低温かつ高圧な海底面下にあるんだ。

国は、2030年の商業化に向けて技術開発を進めているので、新資源に期待しよう!



足立区では、ペットボトルキャップの回収、
使用済みインクカートリッジの回収、
フードドライブを実施しています。



ペットボトルキャップ



インクカートリッジ



フードドライブ

設置施設、および受付時間などの詳細は
区のHPで(二次元コードより)ご確認ください。

ご協力を
よろしくお願いします。

足立区環境情報プラザ「ecoなび」 2025年1月号

発行 足立区環境情報プラザ

住所 〒120-0034 足立区千住 5-13-5(「学びピア21」4階)

アクセス 常磐線・東武スカイツリーライン・つくばEX・
日比谷線・千代田線「北千住」下車徒歩 15 分
都バス・東武バス「千住四丁目」下車徒歩 5 分

電話 : 03-5284-7358

FAX : 03-5284-7359

営業時間 : 午前 9 時～午後 5 時

休館日 : 1月20日(月)

年末年始休館日 : 12月29日(日)～1月3日(金) ▲足立区 HP

